形　　名	
ご購入(据付け)年月日	年　　月　　日
据付け工事店名	TEL

お客様へ……おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名を記入されると便利です。

HOLS 株式会社ほくでんライフシステム　〒060 札幌市中央区南1条東2丁目6番地…☎(011)241-3225

T962Z047H10

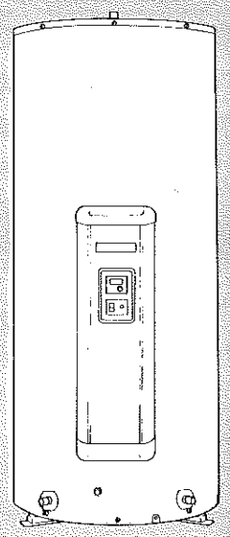
HOLS電気温水器（寒冷地用）

取扱説明書 深夜電力（8時間）用

このたびは、HOLS電気温水器をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

BL：BL認定品

屋内軒下兼用タイプ
HE-3704-B
HE-4604-B



ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、据付け工事要領書を据付け工事店からお受取りください。
お読みになった後はたいせつに保存してください。
万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

目　次

ページ
各部の名称と働き……1
使用上のご注意……2
・必ず守ってください
据付け後のご確認……3．4
・据付け略図・確認事項
ご使用方法……5．6．7．8
・使用前の準備
・お湯の上手な使い方
・湯温切換方法
長期間使用しないときには…9
・タンク内の水抜きをする場合(1ヶ月以上)
・タンク内の水抜きをしない場合(1ヶ月以内)
凍結防止について…10.11.12
・暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください
・凍結防止ヒーターを巻く方法
・水抜きによる方法
・少量の水を流し続ける方法
日常の点検とお手入れ…13.14
・配管の点検
・タンクのお手入れ
・漏電しゃ断器の点検
・逃し弁の点検
・お湯の出が悪くなっているとき
故障診断とアフターサービス…15
修理を依頼される前に……15
アフターサービスと保証…16
仕様……16

各部の名称と働き

給湯口

本体からのお湯の出口です。

漏電しゃ断器テストボタン

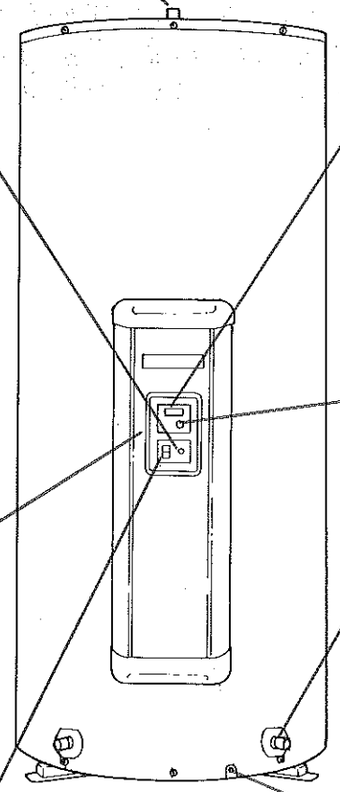
万一漏電したときに動作するかをテストするボタンです。通電中にボタンを押すと電源レバーが「切」になります。

操作部カバー

カバーを開けると湯温切換スイッチ、漏電しゃ断器電源レバーとテストボタンがあります。

漏電しゃ断器電源レバー

このレバーで深夜電力電源を「入」・「切」することができます。
使用中は常に「入」にしておきます。



BL認定の範囲は本体、逃し弁、リモコンおよびリモコンケーブルです。配管、部材は含まれてません。

湯温切換スイッチ

沸き上げ湯温を約85℃と約65℃に切換えられます。
（くわしくは7ページ）

通電表示ランプ

ヒーターに通電しているときに点灯します。

給排水口

左と右にありますが、給水用と排水用に使い分けられます。

アース端子

本体を「接地」するためのアース線接続端子です。

使用上のご注意

必ず守ってください

ご注意いただきたいこと。

1．「やけど」にご注意ください。

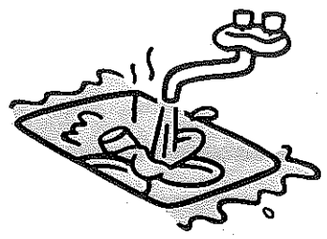
朝の使いはじめは、空気の混じった熱湯が出ることがあります。また、給湯せんからは熱いお湯が出ますので「やけど」にご注意ください。

2．不用意に飲用しないでください。

長期滞留水や配管系統の材料劣化などにより水質が変わることがありますので不用意に飲用しないでください。

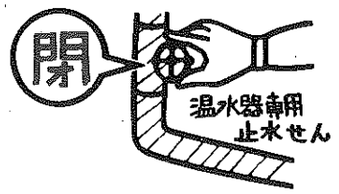
3．貯湯量には限りがあります。

お湯のムダ使いに注意してください。また、深夜電力の通電時間帯にお湯を使いすぎると翌日、設定温度まで沸き上がらないことがあります。



4．水漏れ時の処置

本体や、周辺配管、その他から水漏れが生じたときは、温水器専用止水せんをまず閉じてください。
そして、据付け工事店へご連絡ください。

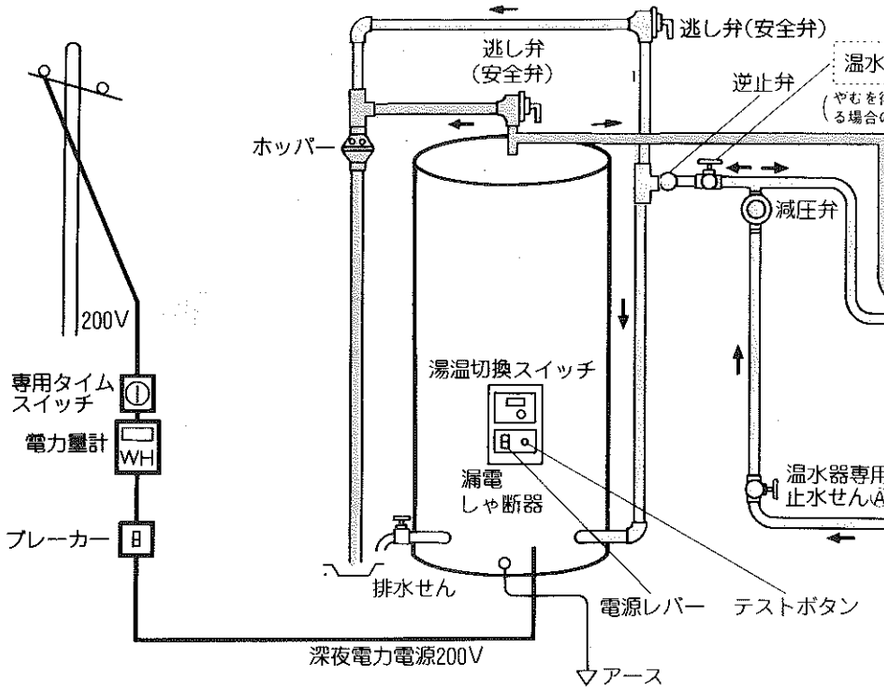


特にマンションなど、中・高層住宅では漏水が下層階へ被害を及ぼす場合がありますので、ときどき点検してください。

据付け後のご確認

据付け略図

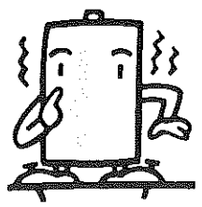
名称はお客様がお手入れや点検時に必要な部分の名称です。



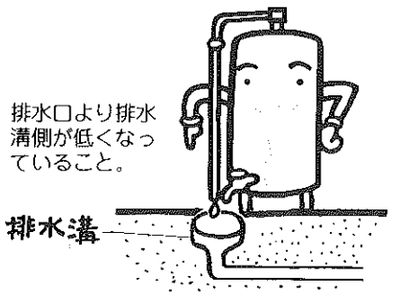
確認事項

●温水器の設置場所は、温水器の重量（約343kg～515kg）に耐え、足場がしっかりしており、長い間に傾いたりする恐れはありませんか。
軒下に設置してある場合は、本体前側（電気制御部分）に雨水がかからないようになっていますか。
本体の近くに、火気やガスボンベ等の引火物はおかれていませんか。

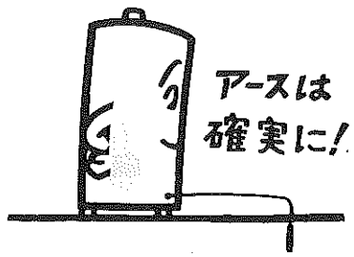
●脚部をアンカーボルトで固定してありますか。
地震の際に本体の転倒を防ぎます。



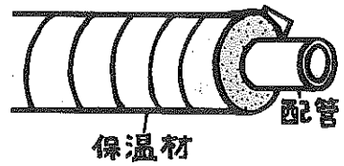
●各排水口（逃し弁・タンク）が排水管（溝）に確実に導かれていますか。
万一、水漏れしても漏れた水が排水溝に確実に導かれるようになっていますか。



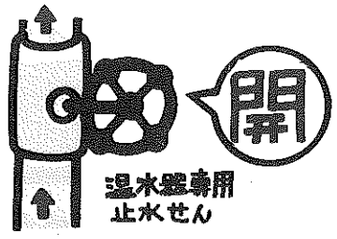
●アース工事が施工されていますか。
本体アース端子にアース線が接続されていますか。



●配管に保温材が巻かれていますか。
（配管内の湯温低下や凍結防止のため重要です）



●温水器専用止水せんがどこにあるか確認してください。
タンク内の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水は止まります。
ふだんは「開」いておきます。



●冬期の凍結防止対策について据付け工事店に確認してください。（くわしくは10.11.12ページ）
凍結防止対策は、地区により異なります。

ご注意　屋外に設置されている場合は、本体前側に雨水がかからないようにしてください。

ご 使 用 方 法

使用前の準備

●使いはじめは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出る場合がありますがしばらく後には消えます。

使いはじめやタンクの清掃後などでタンクが「空」の状態のときは次の手順で操作してください。

給水

①>給湯せんまたは混合せんのお湯側を開きます。

②>温水器専用止水せんを開きます。

③>給湯せんまたは混合せんのお湯側から水がでてきたら満水です。
給湯せんまたは混合せんを閉じます。
（空の状態から満水までは約40分ほどかかります。）

電源

④>深夜電力電源200Vのブレーカーを「入」にします。

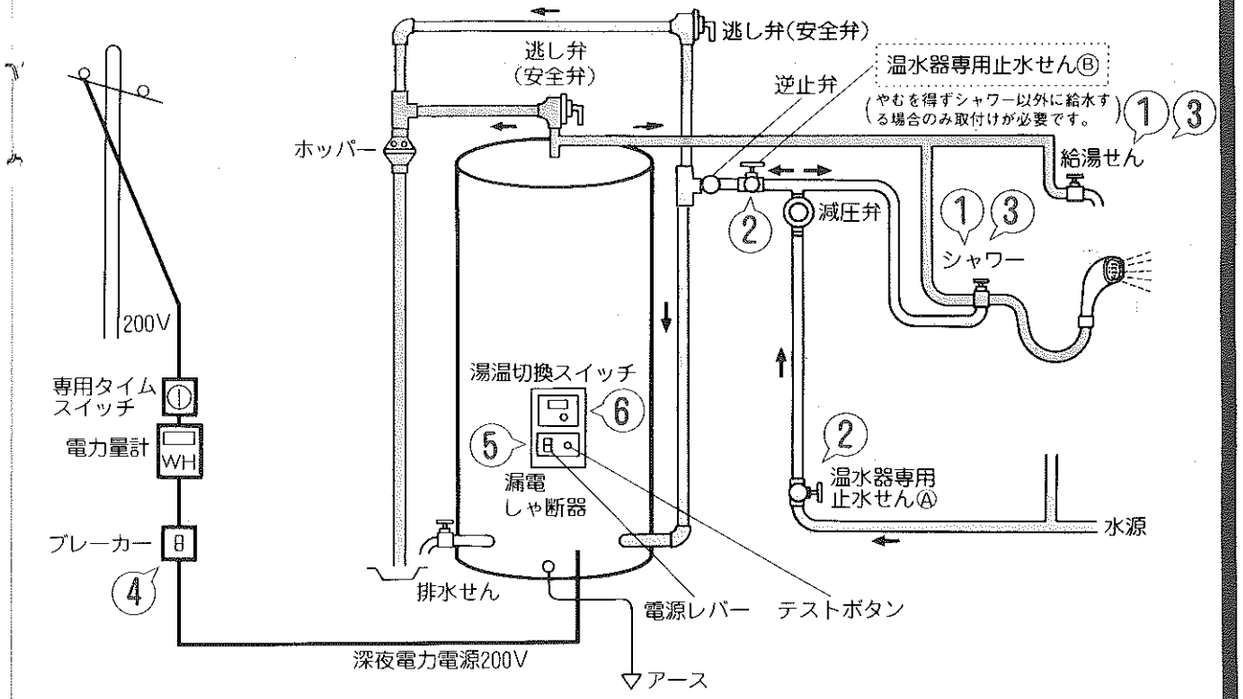
⑤>漏電しゃ断器の電源レバーを「入」にします。

⑥>湯温切換スイッチをセットします。(高：約85℃、低：約65℃)
季節の変動や日常の使用湯量、来客のご予定などに合わせて切換えてください。
沸かしすぎ、電気のムダ使いを防ぎ、維持費を節約できます。
（使用湯量が多ければ高に、使用湯量が少なければ低にセットしてください。）

※ 通電は専用のタイムスイッチにより毎日自動的に行います。

翌朝から給湯せんまたは混合せんを開くだけでお湯が得られ温水器には自動的に給水されます。

●深夜電力の通電中に逃し弁からお湯が出るのは水からお湯になるときの膨張分で逃し弁が正常に作動しているからです。

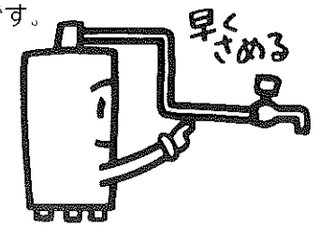


お湯の上手な使い方

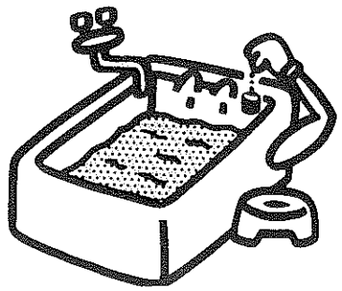
特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

●流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使いましょう。

配管内のお湯は早くさめます。
給湯せんの開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



●お風呂への足し湯は浴槽内の湯を少し減らしてから行うと節約できます。



●入浴はできるだけ深夜電力の通電時間中を避けて連続して入るようにしましょう。
通電中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。

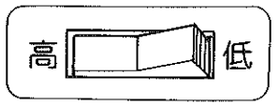
ご使用方法

湯温切換方法

日常の使用湯量に合わせて沸き上げ湯温を切換えることができます。
沸かしすぎ、電気のムダ使いを防ぎ、維持費を節約できます。

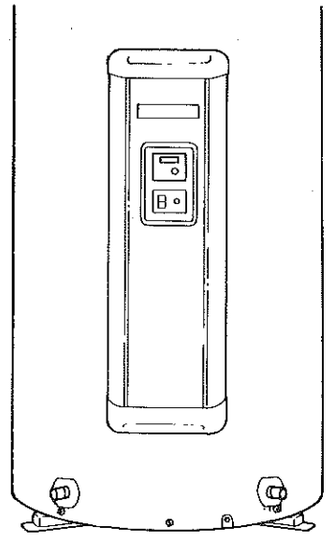
湯温切換スイッチ

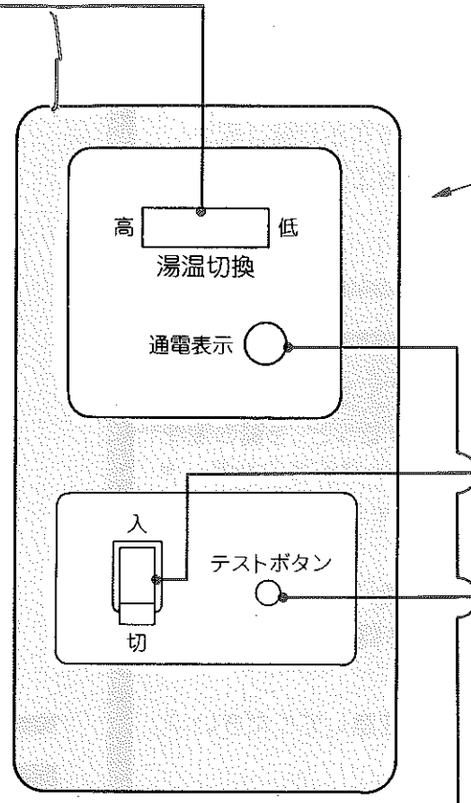
沸き上げ温度を切換えるためのスイッチです。ご家庭の使用湯量、来客のご予定などにあわせて切換えてください。

高	 （スイッチの左側を押してください。）	約85℃に沸き上げます。 来客の予定がある場合や冬季など多量のお湯を必要とする場合に使用します。
低	（スイッチの右側を押してください。）	約65℃に沸き上げます。 夏季などお湯の使用量が少ない場合に使用します。

ご注意

- スイッチの切換えは、なるべく深夜電力供給時間帯以外に行ってください。
- 「低」でご使用のときは湯量不足にならないよう注意してください。





漏電しゃ断器電源レバー

深夜電力電源を「入」・「切」するためのスイッチです。

ご注意

- 使用中は、常に「入」にしてください。

漏電しゃ断器テストボタン

万一漏電したときに、漏電しゃ断器が確実に動作するかをテストするためのボタンです。
通電中にボタンを押すと電源レバーが「切」になります。

ご注意

- 深夜電力の供給時間帯以外は、動作しません。
- テスト終了後は、電源レバーを「入」に戻してください。

通電表示ランプ

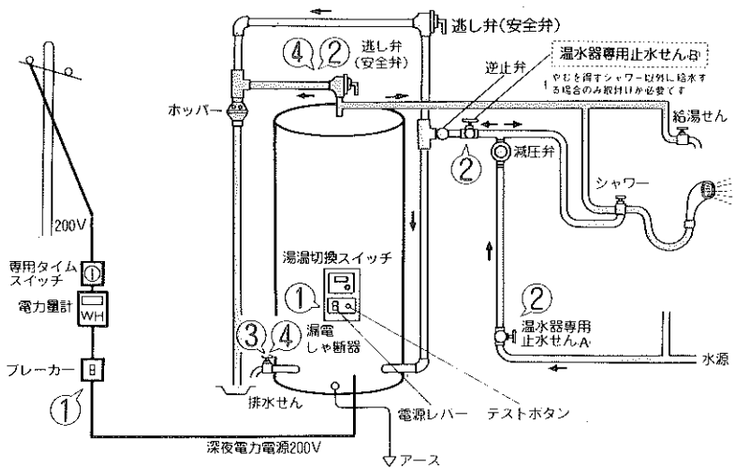
ヒーターに通電しているときに点灯します。

ご注意

- 深夜電力の供給時間帯以外や、沸き上がったときは点灯しません。

長期間使用しないときには

タンク内の水抜きをする場合（1ヶ月以上）



★再びご使用になるときは使用前の準備（5ページ）に従ってください。

※水抜きの際、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量の湯を使用した後に行います。

①>深夜電力電源(200V)のブレーカーまたは漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にします。
②>温水器専用止水せんを閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。(温水器専用止水せんⒷのある場合、Ⓑのみ止めます。)
③>排水せんを開きます。(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。)
④>排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水せんを閉じます。

タンク内の水抜きをしない場合（1ヶ月以内）

冬期、凍結の恐れのある場合は1ヶ月以内でもタンク内の水抜きを行ってください。

① 漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にします。
② 温水器専用止水せんを閉じます。(温水器専用止水せんⒷのある場合、Ⓑのみ止めます。)

凍結防止について

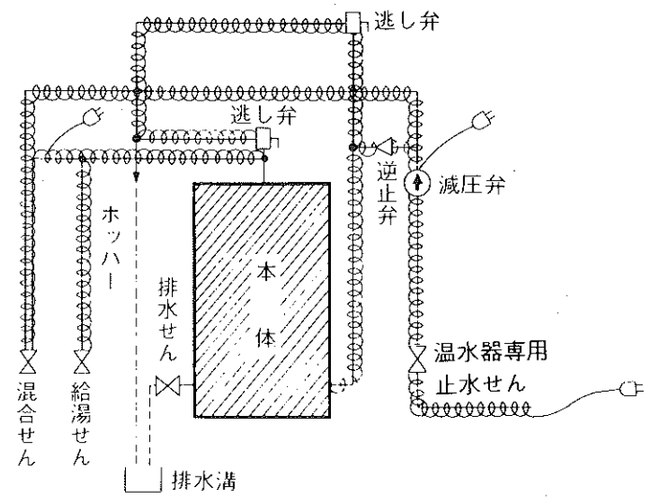
暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください

冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「水抜きによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。
どの方法が施工されたのか据付け工事店に確認してください。

凍結防止ヒーターを巻く方法

- 凍結のおそれのある配管部分すべてに巻きます。
- 凍結防止ヒーターを巻く場合は、ヒーター同梱の「取扱説明書」により施工します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されますので適当な位置にコンセントを設けます。



凍結防止について

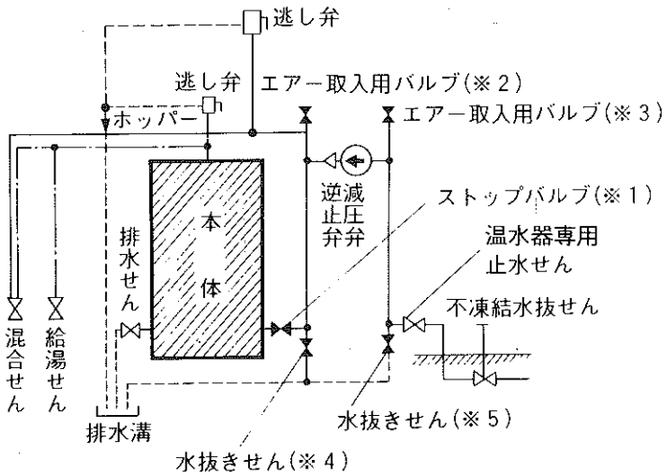
水抜きによる方法

配管内の水を抜く方法です。

① 温水器専用止水せんと不凍結水抜きせんを閉じます。
② ストップバルブ(※１)を閉じ、エアー取入用バルブ（※２，※３）を開け、水抜きせん（※４，※５）を開きます。
③ 逃し弁のレバーを上げ、混合せん、給湯せんを開きます。
④ 排水せんを開き、15～20ℓ程度（約２分間）排水後閉じます。

〈翌朝使用するとき〉

① 逃し弁のレバーを下げ、混合せん(水側・お湯側)、給湯せんを閉じます。
② エアー取入用バルブ（※２，※３）と水抜きせん（※４，※５）を閉じます。
③ 不凍結水抜きせん、止水せんを開き、ストップバルブ(※１)を開きます。



凍結防止について

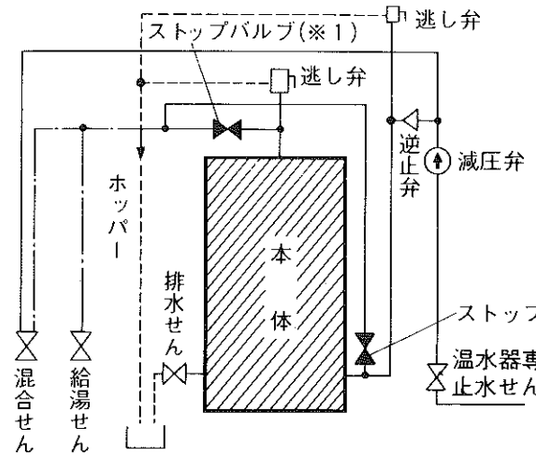
少量の水を流し続ける方法

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。

① ストップバルブ（※１）を閉じ、ストップバルブ（※２）を開きます。
② 各給湯せん・混合せん(水側・お湯側)を少し開けて糸ひき状態に水を流します。

〈翌朝使用するとき〉

① 各給湯せん・給水せんを閉じます。
② ストップバルブ（※２）を閉じ、ストップバルブ（※１）を開きます。



以上の凍結防止方法の他、凍結防止対策が施工されていない場合でも減圧弁を介したシャワーの給水せん側を少し開き水が糸をひく程度に流して凍結防止をする簡便な方法があります。

"この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令(昭57.4.20 政令第 124号)及び日本工業規格(ＪＩＳ)により、水頭圧10m以下1kgf/cm²以下で使用することが義務付されているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい

(1) 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業体が承認するものを使用して下さい。

1 社)日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁
又は、
2 ＪＩＳマークが表示されている水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁

(2) 水道に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付されている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用して下さい。

1 社 日本水道協会の型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの、の場合
減圧弁・逃し弁ともに、社 日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある

丸・寒 ラベル

JWWA ©

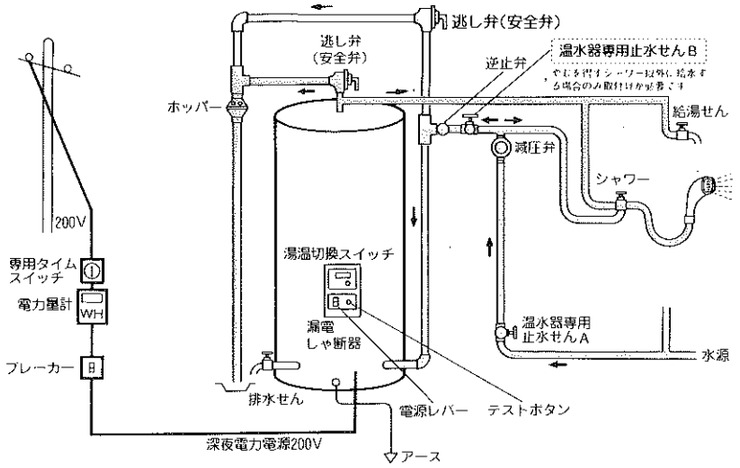
2 ＪＩＳマーク表示品の場合
水道用減圧弁は、設定圧力0.6kgf/cm²、又は0.65kgf/cm² ＪＩＳマーク及び"寒冷地用"の表示がある

減圧弁のラベルの例

温水機器用逃し弁は、吹始め圧力0.90kgf/cm²とＪＩＳマークの表示がある

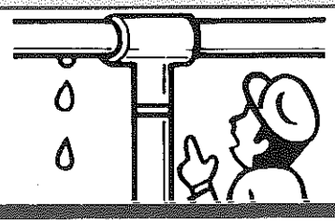
逃し弁のラベルの例

日常の点検とお手入れ



配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は据付け工事店に修理依頼してください。



タンクのお手入れ(1~2ヶ月に1度)

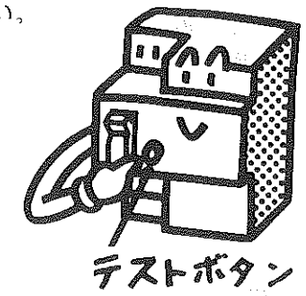
(1) 排水せんを1～2分間開き排水します。
(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。)

(2) 排水がきれいになったら排水せんを確実に閉めます。
(排水がきれいにならなかったら数回繰り返してください。)

漏電しゃ断器の点検(月に1度)

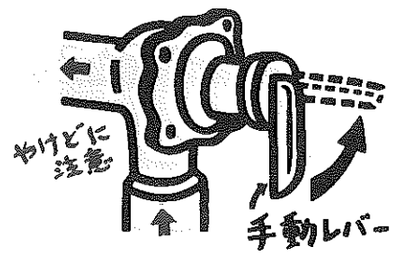
漏電しゃ断器の点検は深夜電力の供給時間帯に行ってください。

① テストボタンを押します。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
※電源レバーが動作しない場合は据付け工事店にご連絡ください。
② 電源レバーを「入」にもどします。



逃し弁の点検(月に1度)

① 深夜電力の通電時間以外に逃し弁よりお湯が出ていないかを確認します。
② お湯が出ている場合は、手動レバーを数回上下に動かし、弁部に付着したゴミを流し出します。それでもお湯が止まらない場合は温水器専用止水せんを閉じて据付け工事店にご連絡ください。



お湯の出が悪くなっているとき

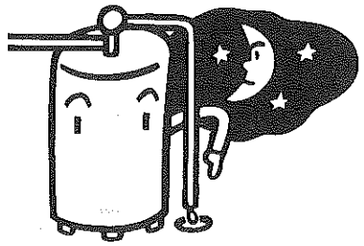
減圧弁(ストレーナー部)に水あかやゴミなどが付着していると、お湯の出が悪くなることがありますのでその場合は据付け工事店にご連絡ください。

故障診断とアフターサービス

故障ではありません

●使いはじめは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出ますがしばらく後には消えます。

●深夜電力の通電中に逃し弁からお湯が出るのは水からお湯になるときの膨張分で逃し弁が正常に作動しているからです。



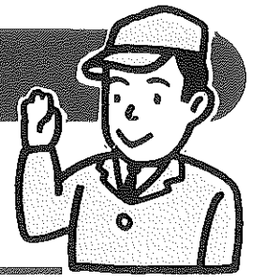
修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、つぎの点検を行ってください。
それでも不具合のあるときは工事店にご相談ください。
保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

現　象	点　検　事　項	処　置
お湯が出ない出が悪い	・断水していませんか	断水が終わるまで待ってください。
	・温水器専用止水せんは開いていますか	閉じていれば開いてください。
	・配管部分が凍結していませんか	とけるまで待ってください。
	・減圧弁のストレーナー部がつまっていませんか	据付け工事店にご連絡ください。
お湯が沸かない足りない	・深夜電力電源のブレーカーが「切」になっていませんか ・漏電しゃ断器のレバーが「切」になっていませんか	「切」になっているときは、「入」にしてください。
	・逃し弁の排水側より昼間お湯か水が出ていませんか	逃し弁を点検してください。(14ページ)

「日常の点検とお手入れ」(13．14ページ)や3～4年ごとに据付け工事店による、保守　点検をおすすめします
減圧弁、逃し弁などは消耗部品です。消耗や劣化している場合は交換してください。

アフターサービスと保証



● 保証書――内容のご確認と保存のお願い

この商品には保証書がついております。保証書は据付け工事店で所定事項を記入します。
記載内容をご確認いただき大切に保存してください。保証期間中の修理のときにはご提示ください。

● BL認定品の保証期間――本体・逃し弁…2年(タンク5年)

保証書の記載内容により修理致します。
その他詳細は保証書をご覧ください。保証期間経過後の修理については、据付け工事店または最寄りの当社相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

● 補修用性能部品の最低保有期間について

当社は当製品製造中止後、10年(BL認定品)を基準に補修用性能部品を保有しております。
なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は据付け工事店か最寄りの当社相談窓口にお問合わせてください。

仕　様

形　名		HE-3704-B	HE-4604-B
設置場所		屋内軒下兼用	
タンク容量		370ℓ	460ℓ
定格	発熱体	単相200V、4.4kW	単相200V、5.4kW
沸き上げ湯温		約85°C/65°C	
本体寸法(mm)		高さ1688×φ682	高さ1719×φ730
重量	本体	約49kg	約55kg
	満水時	約419kg	約515kg
安全装置		漏電しゃ断器・温度過昇防止器・アース端子	
温度調節器		バイメタル式サーモスタット	
発熱体		ステンレスパイプシーズヒーター	